令和8年熊本地震による八代市付近の被災状況

10/5　08:00時点

- 発災当初約142kmにわたり規制を実施したが、復旧作業を進め約135kmを　規制解除
- 8月14日6時に、一部対面通行（川田橋付近）となるが九州道全線(松橋ICからえびのIC)で 一般車両の通行確保
  (九州道により、福岡側と宮崎側の双方から八代までのアクセスルートが確保)
- 対面通行で運用している川田橋については、令和9年末の4車線運用の再開に向け、復旧工事を実施中
- 8月18日6時に、南九州道について、八代南ICから田浦ICの区間において、一般車両の通行確保（南九州道による八代へのアクセスルートが確保）
- 断層ずれの影響を大きく受けた南九州道（八代JCT～八代南IC）の妙見第一橋については、NEXCO西日本において有識者委員会を設置し、復旧計画の検討を行った結果、令和10年末頃に通行止め解除の見込みであり、復旧工事を実施中。
- 九州の関係機関により国道3号等の渋滞緩和に向けた調整を実施
  8月3日には並行する県道14号を2車線で復旧し、迂回案内を強化
- 国道3号については、8月4日から7日(夜間)で、主要3箇所の舗装修繕を完了。その他の12箇所についても、8月10日から14日（夜間）で完了
- 並行する県道338号の横江大橋については 8月17日に一般車両通行可
- 国道219号の新萩原橋については 8月27日6時に一般車両通行可